※令和４年度以降入学生用

学校番号	3018

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	介護総合演習	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	「介護職員初任者研修テキスト」（ＱＯＬサービス） 「見て覚える介護福祉士国試ナビ」（中央法規）　　介護実習日誌（自主教材）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

介護を必要とする人の自立した生活を支援するための安心・安全な介護技術を学び、施設実習やボランティア活動を通じて実践力を高めていきます。２年生では、食事、入浴、排せつ、移動、衣服着脱などの介護技術を学ぶことで、介護福祉士として必要な基本的な介護技術、知識を身につけます。

①デイサービスや特別養護老人ホームなどの社会福祉施設での実習に向けて、興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。

②２年福祉科目の授業のなかで介護職員初任者研修課程を実施し、資格取得をめざします。

③国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

２　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の創造と発展に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

①地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。

②地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。

③健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	Ⅰ 介護職員初任者研修課程	Ⅰ【介護職員初任者研修課程】 8 障がいの理解 ①障がいの基礎的理解 ②障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 ③家族の心理、かかわり支援の理解	a:障がいに関する医学的側面、心理、行動について基本的な知識を身に付け、それらについての様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 b：障がいについて、当事者や家族の気持ちになって思考を深め、適切なかかわり支援について考察し、表現することができる。 ｃ:障がいに応じたよりよい支援について興味や関心を持ち、当事者や家族の気持ちに寄り添った支援方法を主体的に考える態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	ワークシート	提出ノート 観察
		9 こころとからだのしくみと生活支援技術 ⑤快適な居住環境整備と介護	a:家庭内に多い高齢者の事故について理解するとともに、介護保険を活用した住宅改修について基本的な知識を身に付けている。 b：快適な居住環境について、当事者の気持ちになって思考を深め、適切に表現することができる。 c：高齢者の居住環境について興味や関心を持ち、介護保険制度を活用した快適な居住環境について主体的に考える態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	ワークシート 定期考査	提出ノート 観察
	Ⅱ 春期施設実習に向けて	Ⅱ 春期施設実習に向けて 1 デイサービス・デイケアでの実習(6月)とは 2 実習ガイダンスに向けて 3 実習の諸注意・実習目標	a:デイサービス・デイケアの概要について資料や情報を収集し、それらの意義と役割を理解している。 b：６月の実習に向けて、自らが学習したい内容と関連付けて実習目標を設定し、表現することができる。 c：６月の実習に向けて、主体的に実習目標を立てることができる。	定期考査	実習自己分析シート	実習自己分析シート 観察

※令和４年度以降入学生用

1学期	Ⅲ 夏期施設実習に向けて	Ⅲ 夏期施設実習に向けて 1 認知症高齢者とのコミュニケーションの図り方 2 デイサービス・デイケアでの実習(7月)とは 3 実習ガイダンスに向けて 4 実習の諸注意・実習目標	a:デイサービスの意義と役割、認知症高齢者の気持ちに寄り添ったコミュニケーション方法を理解している。 b:7月の実習に向けて、自らが学習したい内容と関連付けて実習目標を設定し、表現することができる。 c:7月の実習に向けて、主体的に実習目標を立てることができる。	定期考査	実習自己分析シート	実習自己分析シート 観察
2学期	Ⅳ 秋期施設実習に向けて	Ⅳ 秋期施設実習に向けて 1 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設での実習(9月)とは 2 実習ガイダンスに向けて 3 実習の諸注意・実習目標	a:特別養護老人ホーム等の概要や、その意義と役割を理解している。 b:9月の実習に向けて、自らが学習したい内容と関連付けて実習目標を設定し、表現することができる。 c:9月の実習に向けて、主体的に実習目標を立てることができる。	定期考査	実習自己分析シート	実習自己分析シート 観察
	Ⅴ 夏期施設実習・秋期施設実習の振り返り	Ⅴ 夏期施設実習・秋期施設実習の振り返り 1 夏期施設実習 ピアスーパービジョンを活用した振り返り	a:認知症高齢者に対する介護技術について理解している。 b:ピアスーパービジョンを通じて、デイサービス・デイケアでの実習の経験を考察するとともに、それを言語化し、発表することができる。 c：グループ活動を通じて、主体的かつ協働的に学びを深める態度を身に付けている。	発表シート	発表シート 発表	実習自己分析シート 発表シート 発表
		2 秋期施設実習 ピアスーパービジョンを活用した振り返り 3 秋期施設実習発表会	a:介護度が比較的重度な利用者に対する介護技術について理解している。 b:ピアスーパービジョンを通じて、特別養護老人ホームでの実習の経験を考察するとともに、それを言語化し、発表することができる。 c:グループ活動を通じて、主体的かつ協働的に学びを深める態度を身に付けている。	発表シート	発表シート 発表	実習自己分析シート 発表シート 発表

※令和４年度以降入学生用

2学期	Ⅵ 障がいの理解	Ⅵ 障がいの理解 1 障がいの理解 2 障がいのある子どもとのコミュニケーションの図り方 3 障がいのある子どもとの関わり方とは 4 児童発達支援センターとは	a:障がいに関する医学的側面、心理、行動について基本的な知識を身に付けている。 b:障がいについて、その子どもや家族の気持ちになって思考を深め、関わり方等について適切に表現している。 c:障がいのある子どもに応じたよりよい支援について興味や関心を持ち、その子どもや家族の気持ちに寄り添った支援方法について追求する態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察
3学期	Ⅶ 3年生の施設実習に向けて	Ⅶ 3年生の施設実習に向けて 1 介護現場を想定した事例問題(認知症高齢者) 2 介護現場を想定した事例問題(脳血管障がい) 3 1年間の振り返り	a: 認知症高齢者や脳血管障がいについて医学的側面、心理、行動について基本的な知識を身に付けている。 b:介護現場を想定した事例問題について、2年間学習してきた知識や技能を用いて思考を深め、適切に表現・判断を行うことができる。 c:2年生での実習を振り返り、3年生の実習に向けて主体的に目標を設定することができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度